

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部 海洋情報監理課

課長 木村 琢磨

098-867-0118 (内線2510)



第十一管区海上保安本部
平成26年8月13日

9月12日の水路記念日を記念して海洋情報パネル展を実施

来る9月12日の第143回水路記念日を記念し、沖縄美ら海水族館において、海洋情報パネル展を開催します。

実施期間 平成26年8月16日(土)～9月23日(火)

8月15日(金)に設営、9月24日(水)に撤去を予定

実施場所 沖縄美ら海水族館 1階ポスター掲示コーナー(出口付近)
(沖縄県国頭郡本部町字石川424番地)

展示内容

- ・水路記念日と海洋情報業務の紹介
- ・沖縄群島(現在の海図、海図番号W226)と琉球群島之図(明治7年6月の海図、海図番号36)
- ・アナグリフ画像でみる日本周辺海域の海底地形
- ・海底地形の測り方

水路記念日とは

明治4年（1871）7月28日（旧暦）兵部省海軍部に水路局（後の水路部）が置かれ、ここに、当時わが国で緊急課題であった、船の安全を図るための海図を作成する組織が発足しました。

昭和26年（1951）の水路部創立80周年記念事業を期に、毎年7月28日を水路部の創立の日として制定していましたが、昭和46年（1971）の創立100年には太陰暦から太陽暦に換算した9月12日を創立の日とし、以後、この日を水路記念日としています。

当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳檜悦（やなぎ ならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で現在の水路業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。